



AWSセキュリティ セットアップサービス

セキュリティ運用を自動化し、安心のインフラ環境を実現しませんか？

ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社

AWSセキュリティ セットアップサービスとは？

- セキュリティ関連のAWSサービス(Amazon GuardDuty、Amazon Inspectorなど)を構築し、セキュリティに関する検出などを自動化するまでをご支援するサービスになります。
- 弊社エンジニアが設計フェーズからセキュリティに関する検出などを自動化するまでをご支援致します。



AWSのサービスを利用して
セキュリティ対策を導入したい



もしマルウェアを検知した際に
自動で一次措置できるようにしたい



ダッシュボードで状況の確認、
管理者にメールを送れるようにしたい

対象のAWSサービス



Amazon
GuardDuty



Amazon
Inspector



AWS
Security Hub



Amazon
EventBridge



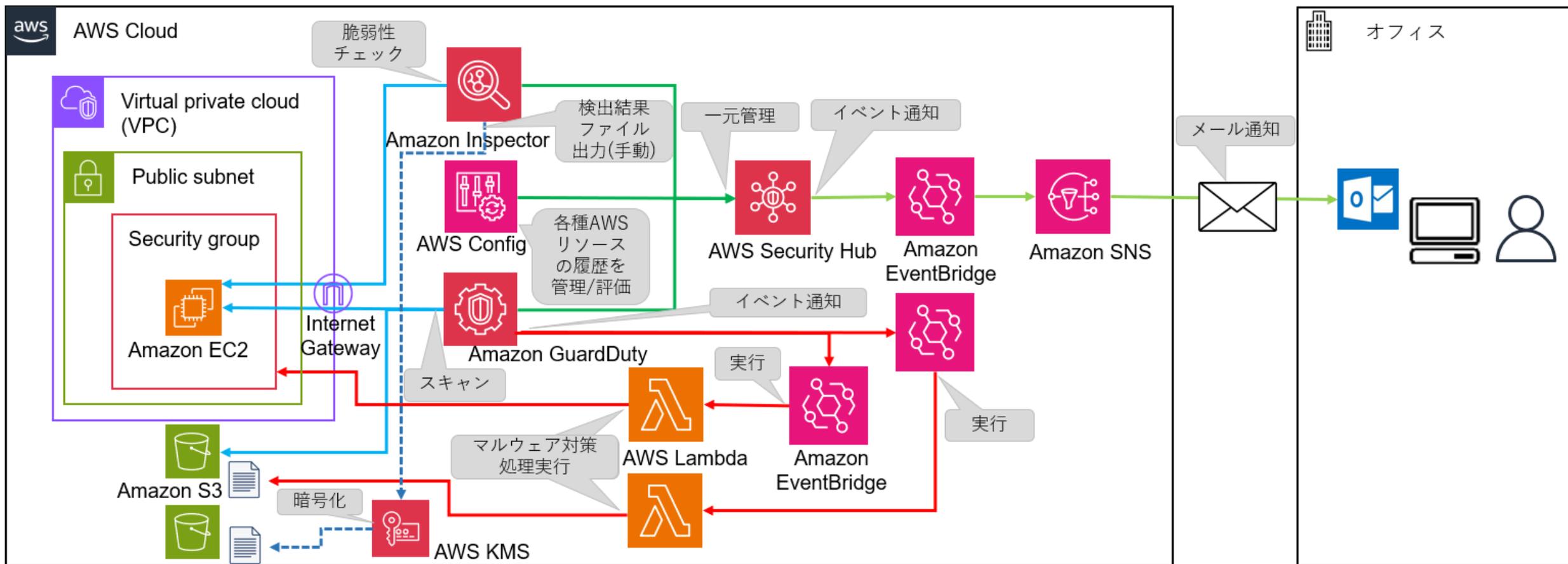
Amazon
SNS



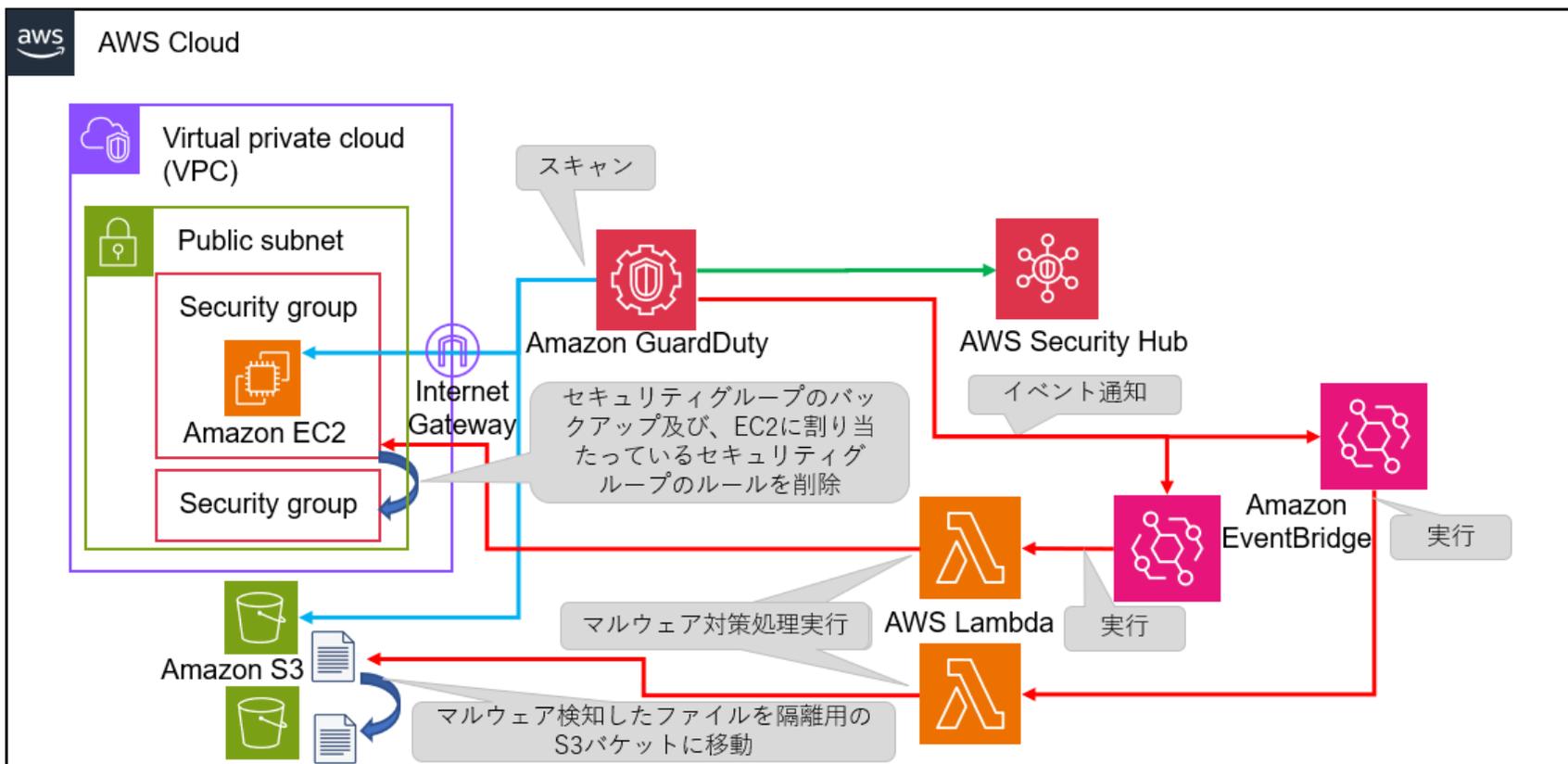
AWS
Lambda

全体イメージ図

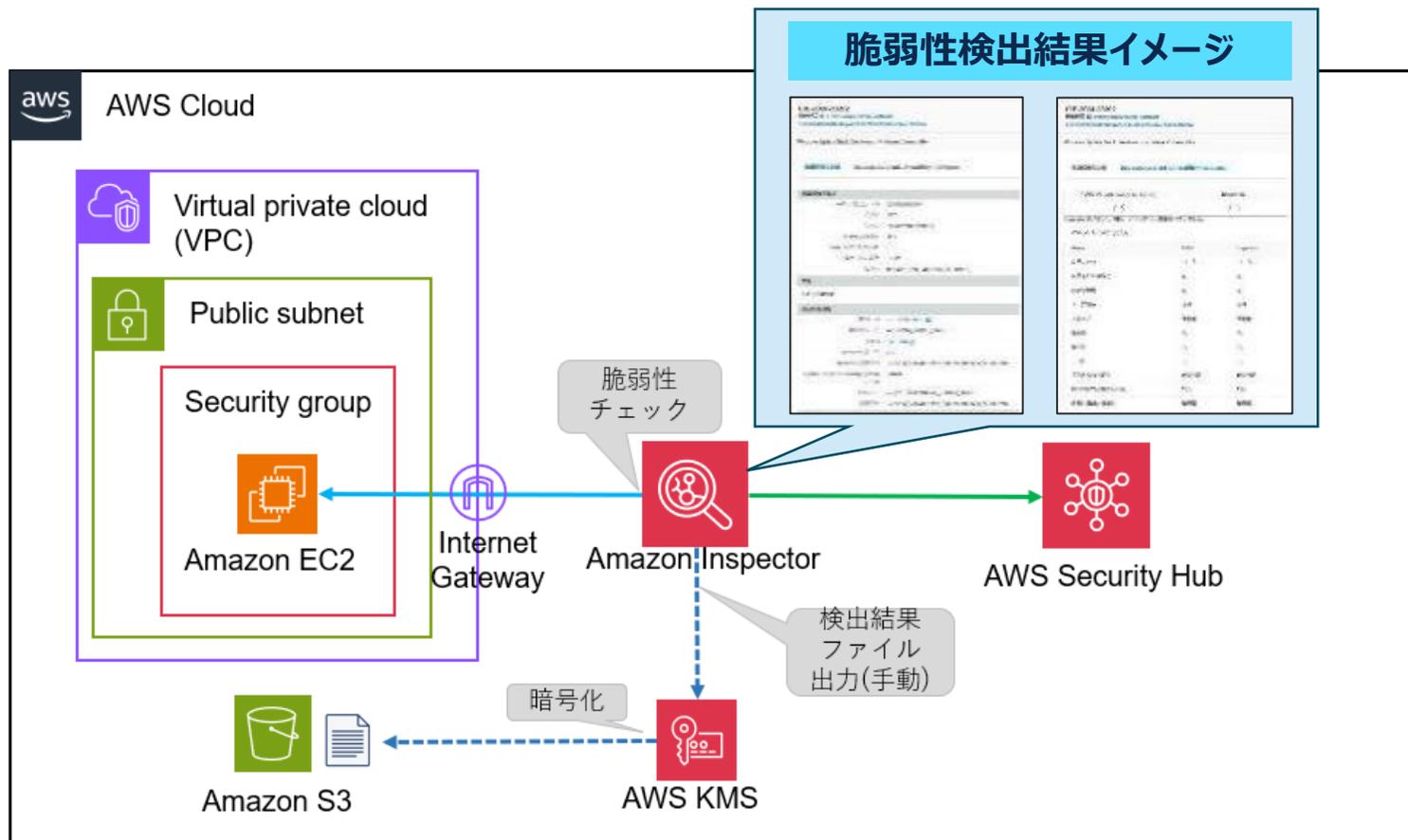
- AWS環境内のセキュリティに関するチェックを自動化し、検出結果はSecurity Hubで一元管理します。
- 問題のあるイベントについては、ご指定いただいたメールアドレス宛に通知されます。
- マルウェアスキャンで検出した場合、自動的に一次措置をおこないます。



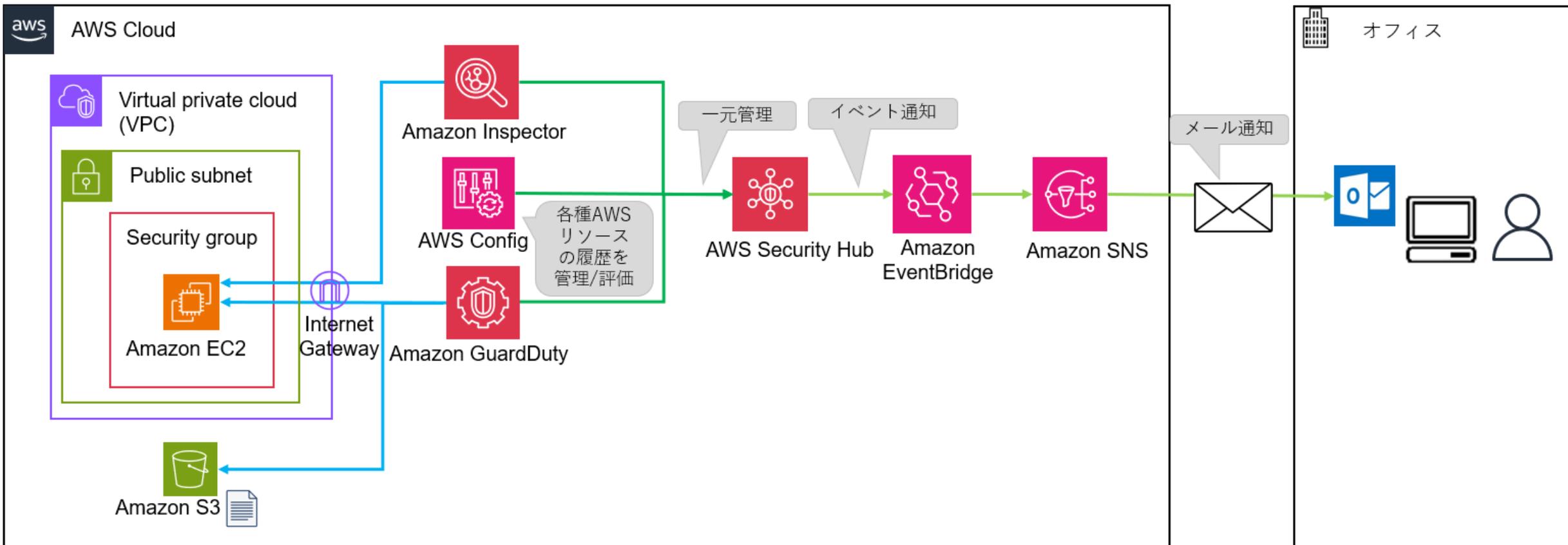
- AWSクラウド環境内の不正アクセスなどを自動的に検知するための、AWSが提供する脅威検出サービスです。
- 脅威を検出した場合、リアルタイムに分析を行い、検出結果を提供することが可能です。
- AWSサービスでは対応していないオリジナルの機能で、EC2とS3にてマルウェア検出した場合、EventBridgeとLambdaを連携することで、外部からの通信を自動的に遮断(EC2を隔離等)し、他のAWSリソースを守ることが可能です。



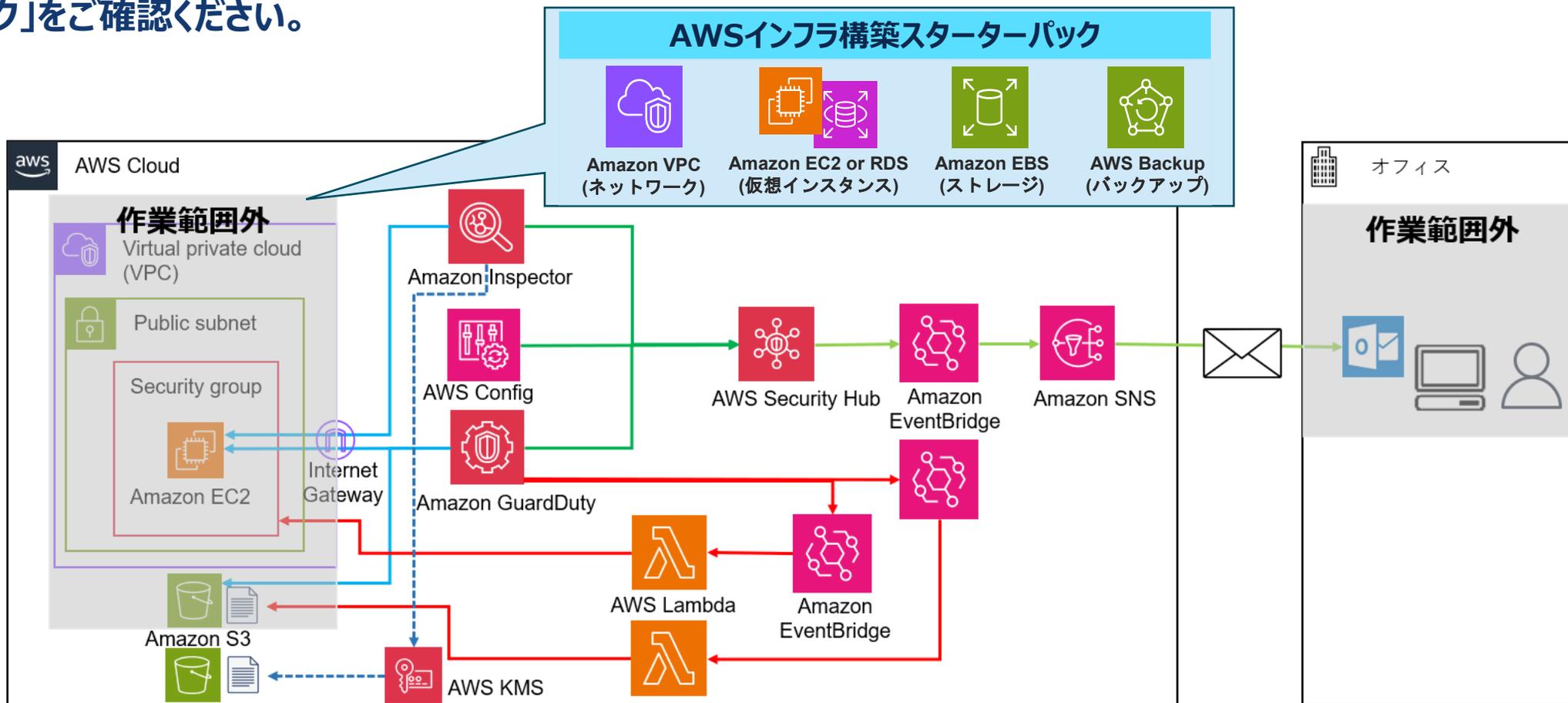
- ソフトウェアパッケージやネットワーク到達性に関する問題を自動的に検出する、AWSが提供している脆弱性管理サービスです。
- 脆弱性を検出した場合、リスクスコア(CVSS形式)を算出し、脆弱性を正確に評価することが可能です。
- 自動的に脆弱性チェックを実施するため、運用負担を軽減することが可能です。



- セキュリティ関連のAWSサービスで検出した結果を一元管理するための、AWSが提供しているセキュリティ管理サービスです。
- セキュリティ基準に基づいて、自動的にセキュリティ評価をすることが可能です。
- EventBridgeとSNSを連携することで、検出した結果をメールで通知することが可能です。

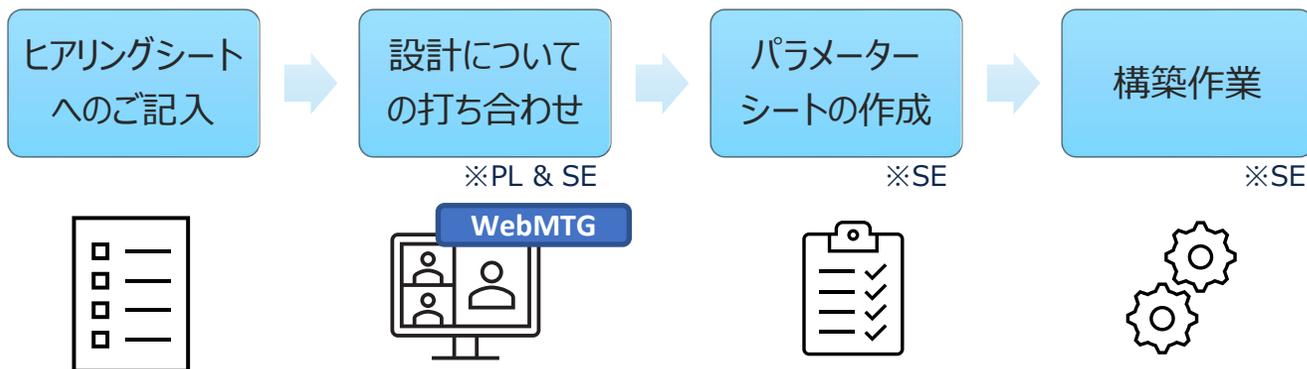


- 対象サービスの有効化、EventBridge&SNSにてメール通知設定、EventBridge&Lambdaを用いた自動化の設定を実施いたします。
- VPC及びEC2、スキャン対象のS3の新規作成等は含まれません。必要な場合は「AWSインフラ構築スターターパック」をご確認ください。

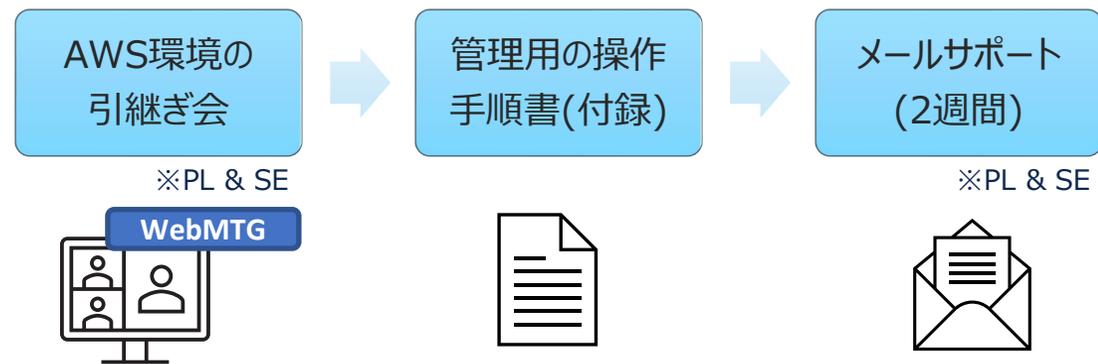


- AWSに馴染みの薄い方にも安心して導入頂けるように、案件ごとにPLとSEをアサインし、お打ち合わせをベースに進めさせていただきます。
- 設計についてのお打ち合わせの前に、弊社指定のヒアリングシートにご記入頂く必要がございます。
- AWS環境の引継ぎ会では、構築環境の質疑応答や納品物のご紹介を致します。(1時間程度)
- メールサポートでは、構築環境に関するご質問をAWS環境の引継ぎ会后2週間対応致します。(平日9時 - 17時)

設計・構築フェーズ



納品フェーズ



※各フェーズでの弊社担当者の役割について

- ◆PL(プロジェクトリーダー) ... 本サービスの全体マネジメントを実施
お客様とのコミュニケーション(お問合せ対応やMTGの日程調整)、構築作業の進捗管理など
- ◆SE(構築エンジニア) ... 各種設定シートの作成、AWS環境構築、納品物の作成、技術QA対応など

AWSサポートセンター(技術サポート)のご利用で、構築後もずっと安心です！

AWSサポートセンターでは、電話、チャット、Eメールを使って、クラウドサポートエンジニアに24時間、年中無休で問い合わせることができます。
※「ビジネス」以上のサポートプランをご契約ください！



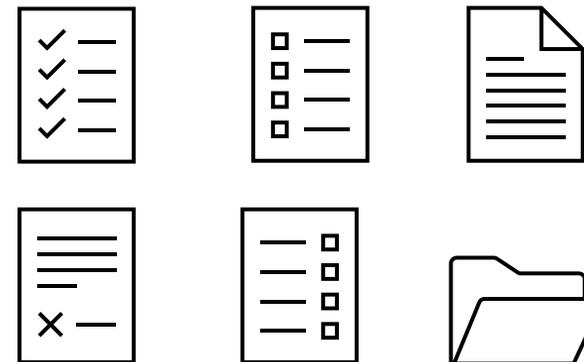
設定範囲および価格について

作業内容	対象サービス	詳細	標準単価(税別)
マルウェア検知サービスの有効化設定	Amazon GuardDuty	GuardDutyの有効化、EC2とS3のMalware Protectionの有効化	個別相談
脆弱性チェックサービスの有効化	Amazon Inspector	Inspectorの有効化、KMS、検出結果エクスポート用S3バケットの作成	
ダッシュボード機能の有効化	AWS Security Hub	Security Hubの有効化、AWS Configの設定、セキュリティ基準の設定	
メール通知設定	AWS EventBridge & Amazon SNS	EventBridge Rule、SNSの作成	
マルウェア検知時の自動化設定	AWS EventBridge & AWS Lambda	EventBridge Rule、Lambda、隔離先S3バケット、IAMポリシーの作成、IAMロールへのアタッチ	
構築前のAWS設計支援	設計支援	ヒアリングシートに基づくお打ち合わせ(Web会議3回まで)	
AWS環境引継ぎ会&レクチャー	環境引継ぎ会&レクチャー	構築したAWS環境の説明及びダッシュボードの確認方法レクチャー (Web会議)	
メールサポート	メールサポート	2週間のメールサポート(平日9時-17時、ベストエフォート対応)	
ドキュメントの共有	ドキュメント	詳細設計書、試験計画書兼報告書	

※メニュー範囲外の構築に関しましては、別途ご相談ください。

● 納品ドキュメント

- 詳細設計書 (パラメータシートのとりまとめ)
 - 試験計画書兼報告書
- ※弊社フォーマットでのデータ提供となります。



● 操作手順書(付録)

- AWSマネジメントコンソールからのセキュリティセットアップ関連の操作手順書
- ※上記の操作手順書を付録(無償)としてお渡し致します。
弊社のAWS環境をベースとした操作手順書となります為、お客様のAWS画面とは異なります。
個別のカスタマイズは実施することはできません。

● Amazon GuardDuty

- 検出結果に関する対応は、弊社では対応致しかねます。
- 動作確認時、疑似的にサンプルイベントを生成させていただきます。
メールが大量に送付される可能性があります。
- VPCフローログなど、GuardDutyで監視しているログの設定は構築対象外とさせていただきます。
- 既存のS3バケットに対して、マルウェアスキャン機能を使用する場合、
既存のS3バケットの設定を変更する事がございます。
- EC2のマルウェアスキャン機能を使用したい場合、以下のEBSボリュームはサポートされていません。
 - ・2TBを超えるEBSボリューム
- S3のマルウェアスキャン機能を使用したい場合、以下のファイルはサポートされていません。
 - ・パスワード付き圧縮ファイル
 - ・5GBを超えるファイル

● Amazon EventBridge & AWS Lambda

- EC2のマルウェアスキャンについて、テスト用にEC2を作成し、動作確認させていただきます。
- ソースコードの改修は対応致しかねます。
※ソースコードの仕様については、ご相談ください。



- **Amazon Inspector**
 - 検出結果に関する対応は、弊社では対応致しかねます。
 - 既存のEC2に対してInspectorを使用して脆弱性チェックを行う場合、弊社にてEC2に対して、IAMロールをアタッチさせていただきます。
- **AWS Security Hub**
 - 検出結果に関する対応は、弊社では対応致しかねます。
- **Amazon EventBridge & Amazon SNS**
 - サポート期間中のメール本文のフォーマットの改修は、ご相談ください。
※サポート期間が過ぎた場合、メール本文のフォーマットの改修は、弊社では対応致しかねます。
- **その他**
 - インターネット接続できない環境はエンドポイント経由となるため、別途見積もりが必要となります。



- 本サービスはDISのAWSサービス契約を締結しているお客様が対象です。
- 本サービス以外の追加要件(構築やドキュメントの追加)に関しましては対応致しかねます。また設定範囲はヒアリングシートの項目のみ対応いたします。
- 各種セキュリティのAWSサービスで検出した結果については対応不可となります。
- フルアクセス権限を持つ作業用のアカウントを1つ払い出して頂きます。
- 設定作業は平日日中帯(すべてリモートにて実施)を前提としております。
- 構築後における試験は構築した範囲を限定に実施いたします。
- 作業期間中にAWS側の機能拡張/設定パラメータ変更などが発生する可能性もございます。
- AWS側のサービス障害などにより弊社側作業の実施が難しい状況が起きた場合、各種スケジュールを変更させて頂く可能性もございます事をご了承ください。
- メールサポート終了後のAWSに関する技術的なご相談やトラブルはメーカー窓口(AWS技術サポート)へお問い合わせください。



さわって理解するAWSハンズオン基礎講座について

AWS(Amazon Web Services)を構成する基本要素やコンセプトについて初歩から学びながら、ハンズオン(実操作)を通してクラウドにおける調達や基本設定の方法を習得できます。EC2をはじめとしたAWSの各種サービスをハンズオンで実体験することで、AWSの基礎的な知識の理解と操作習得を目指すトレーニング内容です。

受講のメリット

1. 自己学習よりも短時間で学ぶことができます。
2. 正しいインフラ構築を実際に手を動かしながら技術を身につけることができます。
3. 操作手順書(350ページ以上)をお渡ししますのでトレーニング後も安心して構築することができます。



商品コード：ZDX-DXPRACAWSSTEP1

- 授業料 : 個別相談
- 受講形式 : 集合研修 (オンラインも対応可)
1日 (10時~12時、13時~17時※昼休憩60分間)
※希望日を確認して別途調整いたします
※集合研修の場合、別途交通費が掛かる場合がございます
- 人数条件 : 最少催行人数 6名、最大人数 10名
- 対象者 : これからAWSを使い始める方
AWSサービスの概要を学びたい方

講座内容

【座学&ハンズオン】

1. AWSの基本概念
2. マネジメントコンソールの使い方
3. AWSアカウントをつくってみよう
4. ネットワークを作ってみよう
5. 仮想サーバーをつくってみよう
6. バックアップと監視の仕組みをつくってみよう
7. その他のAWSサービスのご紹介
8. AWSにおけるセキュリティについて

2025年1月21日

・サービスリリース



DIS Service & Solution Co., Ltd.